

平成22年度名護市当初予算

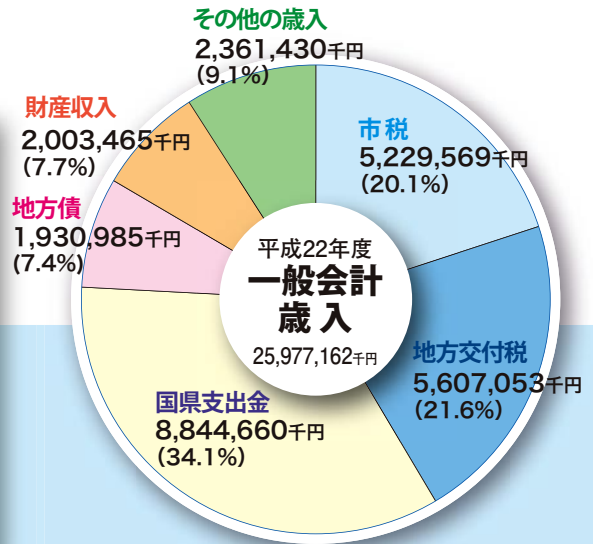
～ 一般会計総額 **25,977,162千円** (対前年度比**0.4%減**) ～

平成22年度の当初予算が、去る3月29日に名護市議会において可決されましたのでその概要をお知らせいたします。平成22年度の予算の状況について、一般会計当初予算規模は、**前年度当初比104,463千円減(0.4%減)の25,977,162千円**となりました。

一般会計

《歳入予算(単位:千円)》

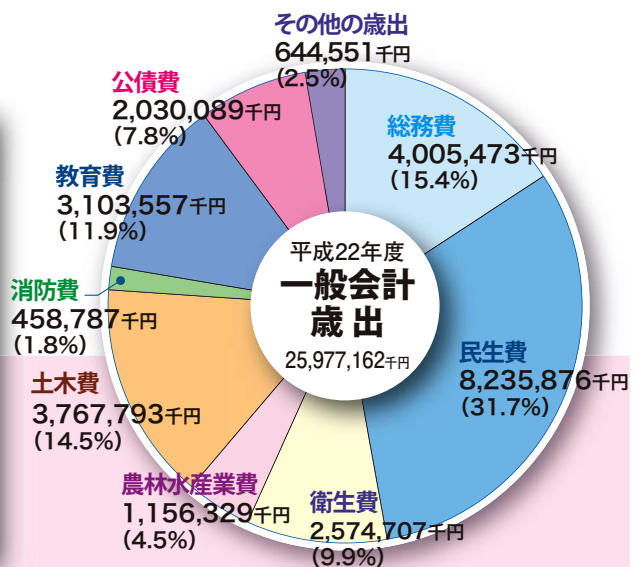
	平成22年度当初	H22構成比(%)	平成21年度当初	比較(H22-H21)	増減率(%)
市 税	5,229,569	20.1	5,472,375	-242,806	-4.4
地方交付税	5,607,053	21.6	5,361,145	245,908	4.6
国県支出金	8,844,660	34.1	9,103,633	-258,973	-2.8
地方債	1,930,985	7.4	1,730,937	200,048	11.6
地方譲与税	173,113	0.7	182,727	-9,614	-5.3
各種交付金等	951,538	3.7	971,833	-20,295	-2.1
分担金・負担金	363,125	1.4	362,705	420	0.1
使用料・手数料	603,197	2.3	617,508	-14,311	-2.3
財産収入	2,003,465	7.7	1,988,874	14,591	0.7
繰入金	30,087	0.1	55,071	-24,984	-45.4
その他	240,370	0.9	234,817	5,553	2.4
計	25,977,162	100.0	26,081,62	-104,463	-0.4



歳入については、法人市民税、個人市民税等の減収などにより市税が減っており、使用料・手数料については塵芥処理費手数料の減、市営市場建替えに伴う使用料の減となっています。また、地方交付税については、「平成22年度地方財政対策」を基本に試算し、税収の減等が反映されたことにより増となっています。国庫支出金については、北部振興事業の終了などにより減となりました。繰入金については、財政調整基金等からの繰入金は前年度より大幅な減となり、また、公的資金補償金免除繰上償還終了に伴い減債基金の繰り入れは皆減となっています。

《歳出予算(単位:千円)》—費目別(部門別)

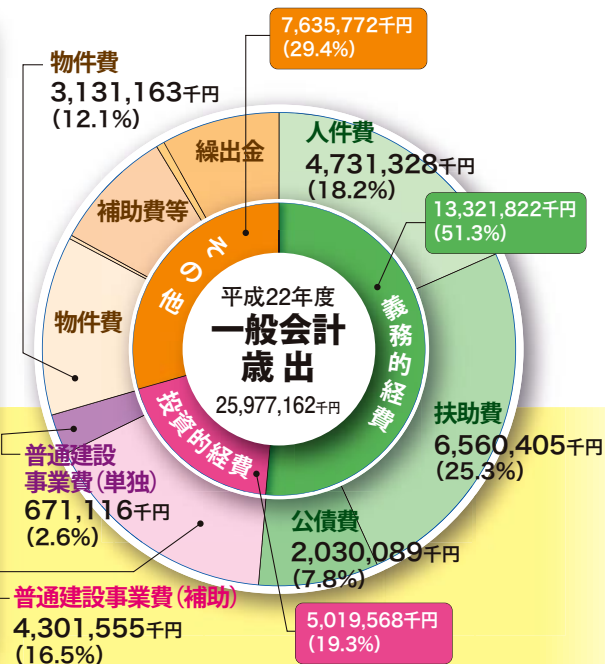
	平成22年度当初	H22構成比(%)	平成21年度当初	比較(H22-H21)	増減率(%)
議 会 費	280,963	1.1	283,279	-2,316	-0.8
総 務 費	4,005,473	15.4	4,096,539	-91,066	-2.2
民 生 費	8,235,876	31.7	6,516,297	1,719,579	26.4
衛 生 費	2,574,707	9.9	2,539,207	35,500	1.4
農林水産業費	1,156,329	4.5	1,461,826	-305,497	-20.9
商 工 費	181,684	0.7	1,502,499	-1,320,815	-87.9
土 木 費	3,767,793	14.5	4,345,694	-577,901	-13.3
消 防 費	458,787	1.8	468,674	-9,887	-2.1
教 育 費	3,103,557	11.9	2,521,610	581,947	23.1
公 債 費	2,030,089	7.8	2,233,225	-203,136	-9.1
そ の 他	181,904	0.7	112,775	69,129	61.3
計	25,977,162	100.0	26,081,625	-104,463	-0.4



歳出については、まず費目別(部門別)に見てみると、民生費で、子ども手当の新設及び、生活保護に係る支給費等により大幅増となっております。商工費においては、北部振興事業に係る普通建設事業費の減が大幅減となっています。衛生費においてはごみ処理委託料、乳幼児医療費助成費、女性特有のがん検診推進事業が増額となっています。土木費においては、北部振興事業の為又1号線道路改築事業、大西線街路整備事業等の建設関連事業が減額となっております。教育費では、統合久志小学校校舎改築事業、屋部小学校校舎改築事業等が増額となっています。

《歳出予算(単位:千円)》一性質別

	平成22年度当初 (千円)	H22構成比(%)	平成21年度当初 (千円)	比較(H22-H21)	増減率(%)
義務的経費					
人件費	4,731,328	18.2	4,914,143	-182,815	-3.7
扶助費	6,560,405	25.3	5,148,411	1,411,994	27.4
公債費	2,030,089	7.8	2,233,225	-203,136	-9.1
投資的経費					
普通建設事業(補助)	4,301,555	16.5	6,198,355	-1,896,800	-30.6
普通建設事業(単独)	671,116	2.6	313,715	357,401	113.9
災害復旧事業	46,897	0.2	46,897	0	0.0
その他					
物件費	3,131,163	12.1	2,783,147	348,016	12.5
維持補修費	74,785	0.3	170,856	-96,071	-56.2
補助費等	2,228,845	8.6	2,167,318	61,527	2.8
積立金	117,335	0.4	125,210	-7,875	-6.3
投資及び出資金	430	0.0	880	-450	-51.1
貸付金	10,500	0.0	10,500	0	0.0
繰出金	2,042,714	7.9	1,938,968	103,746	5.4
前年度繰上充用金	0	0.0	0	0	-
失業対策事業	0	0.0	0	0	-
予備費	30,000	0.1	30,000	0	0.0
計	25,977,162	100.0	26,081,625	-104,463	-0.4



次に**性質別**に見てみます。

義務的経費(使途が義務付けられ任意に削減できない経費)中、扶助費については、子ども手当の新設及び生活保護に係る支給費、障害者自立支援に係る訓練等支援費等により増になっています。

人件費については、職員数の減によるものです。公債費については、平成20・21年度に国の高金利公債費負担軽減対策として実施された公的資金補償金免除繰上償還を活用したことにより、大幅減となっています。

投資的経費(道路や公園・学校など社会資本の整備や災害復旧等に係る経費で、将来に残るものに支出される経費)については、北部振興事業の終了等により普通建設事業が大幅減となりました。

投資的経費中の主な事業として、以下のような事業が挙げられます。

☆**学校関連事業**

屋部小学校校舎改築事業、統合久志小学校校舎新築事業、久辺小学校体育館整備事業など

☆**農林水産関連事業**

数久田地区用水対策事業、我部祖河むらづくり交付金事業、屋我地漁港海岸保全整備事業、森林病虫害防除事業、リュウキュウマツ景観保全対策事業など

☆**道路・交通関連事業**

大北大西線街路整備事業、為又1号線道路改築事業、市道名護1号線道路橋梁整備事業、志味屋線道路新設改良事業、羽地東中央線改良舗装事業、名護52号線道路改良事業など

☆**公営住宅関連事業**

うんさの森市営住宅第1・第2団地建替事業(基本計画策定)

その他の経費中では、補助費等で、全国高等学校総合体育大会名護市実行委員会に係る補助金、林業構造改善事業費等により増となっています。物件費については、需用費、旅費などは削減したものの、ごみ処理委託料、窓口業務委託料、行政事務委託料、沖縄県雇用再生特別事業委託料などにより、委託料が大きく伸びています。

以上が平成22年度一般会計当初予算の概要であります。

今後も引き続き、積極的な歳入の確保、徹底した歳出の見直し・削減を図り、職員一丸となって、市民の視点に立った行財政運営を目指してまいります。

特別会計

	平成22年度当初 (千円)	平成21年度当初 (千円)	比較(H22-H21)	増減率(%)
国民健康保険特別会計	7,971,875	7,574,686	397,189	5.2
介護保険特別会計	3,580,984	3,345,774	235,210	7.0
公共下水道事業特別会計	1,270,774	1,286,097	-15,323	-1.2
後期高齢者医療特別会計	382,626	345,222	37,404	10.8
老人保健特別会計	5,119	62,612	-57,493	-91.8
第三地区土地区画整理事業特別会計	352,991	377,270	-24,279	-6.4
計	13,564,369	12,991,661	572,708	4.4

水道事業会計

	《歳入》			《歳出》		
	平成22年度当初 (千円)	平成21年度当初 (千円)	増減率(%)	平成22年度当初 (千円)	平成21年度当初 (千円)	増減率(%)
収益的収支	1,552,579	1,627,021	-4.6	1,506,694	1,511,607	-0.3
資本的収支	203,494	204,203	-0.3	589,697	586,931	0.5